

女子400R、五輪黄信号

陸上福島「本当に崖っぷち」

陸上のリオデジャネイロ五輪女子400リレーと1600リレーの出場権を目指す日本代表候補が9日、大阪・ヤンマースタジアム長居で行われた大阪選手権に出場し、出場条件を満たすために必要な国際陸連のランキングを上げるタイムを両種目とも出せなかった。



400リレーは齋藤愛美(岡山・倉敷中央高)、

陸上のリオデジャネイロ五輪女子400リレーと1600リレーの出場権を目指す日本代表候補が9日、大阪・ヤンマースタジアム長居

福島千里(北海道ハイテクAC―帯南商高出)、世古ドバー・イヨバ(日大)で

臨み44秒41。青山聖佳(大阪成蹊大)、石塚晴子(東大阪大)、市川華菜(ミズノ)、青木りん(神奈川・相洋高)の1600リレーは3分34秒37だった。男子1600リレーを加えた代表候補3チームは、10日にも出場して五輪切符を狙う。

五輪のリレー種目出場は16チームで、昨年の世界リレー大会上位8チームは既に出場権を獲得。あとは今月11日が期限の持ちタイム

陸上の大阪選手権で女子400リレーに出場した後、取材に応じる福島千里は9日、大阪・ヤンマースタジアム長居

2種目とも低調

▽:女子リレーの日本代表チームは2種目とも低調なタイムに終わった。

現時点でリオ五輪出場権の圏外にいる日本にとつて、特別レースとして組み込まれた大阪選手権がラストチャンス。400リレーでは日本記録(43秒39)を更新するぐらいのタイムが求められるが、約1秒も足りず、2走のエース福島

(上位2レースの合計)でランク9〜16位に入った8チームが出場できる。4日付最新ランクで日本女子は400リレーが18位、1600リレーが17位となっている。

600リレーも不本意なタイム。1走の青山は「ちよつと駄目だな、という感じ。あすは縮めたい」と挽回を誓った。

は「42秒(台)を出さない」と。本当に本当に崖っぷちです」と言葉少なだった。

もう一息の位置にいる1